

# やまほうしだより



令和8年2月2日  
八王子市立船田小学校  
特別支援教室やまほうし

3学期がスタートし、1か月ほどが経ち、徐々に学年のまとめを始める時期となりました。

やまほうしでも、1年間のまとめとして最終指導日に行う「卒業・進級を祝う会」に向け、計画的に準備を進めていこうと考えています。

残りの2か月は、次の学年へ進むための大切な期間です。新しい学年への期待とともに、不安を抱えている子もいると思います。日頃の様子をよく見たり、じっくり話を聞いたりしながら、前向きな気持ちで進んでいけるよう支援していきます。

## 授業の紹介

### 【1月の授業風景から】

#### ①『昔遊び～けん玉・コマ回し～』



新年最初の小集団活動は、お正月にもちなんで、コマやけん玉の昔遊びを行いました。♪「もういくつ寝ると、お正月。お正月には……」『お正月』の歌からやることを想像してもらおうと思ったら、その歌を知っている子が、ほとんどいませんでした!!(まずは、そこにジェネレーションギャップを感じた昭和・平成生まれのやまほうし教員たちでした(笑))

歌を知らないだけでなく、けん玉やコマ回しの経験があまりないという子も多かったです。実は、けん玉やコマ回しには、身体面・精神面に、さまざまな効果があると言われています。

今回は、けん玉の効果をご紹介します。

けん玉は、自然と体幹を使うので、身体の安定性を育てられる特徴があります。姿勢やバランス感覚を鍛えることができ、学習や日常生活に良い影響を与えるそうです。また、成功や失敗の体験を重ねることができるので、心の成長にもつながります。

#### 姿勢が良くなる!!

「大皿」や「小皿」に玉をのせる基本動作は、単純そうに見えて、実は腕の力だけでなく、膝の屈伸や体幹での支えが欠かせません。繰り返すうちに、自然と腹筋や背筋が鍛えられ、身体を安定させる力が身に付いていきます。

#### 器用さ・反射神経 UP!!

けん玉の正確な操作には、手と目を瞬時に連動させる力が求められます。この繰り返しが、手先の器用さと反射神経を鍛え、特に幼少期から取り組むと、神経系の発達を後押しする効果が高まるそうです。

#### 「できた」という成功体験→自己肯定感 UP!!

#### 失敗体験から育つ心の強さ→逆境や困難を乗り越える力 UP!!

## ②『超難問!!マッチングゲーム』

生き物の絵カードと生き物の名前カードをマッチングさせていくゲームです。絵を見ただけで「ミミズクとフクロウ」「オットセイとアザラシとアシカ」を見分けるのは大人でも難しいです。さらに「梟」「海豹」など名前が漢字で書いてあるカードもマッチングさせていきます。学校では習わない難しい漢字もたくさん出てきて…。

でも「こんな難しい問題無理だよ!」と言う子は誰もいませんでした。「海という漢字が入っているから海にいる生き物の名前じゃないかな?」「これは自信がないな。後でお助けチームに教えてもらおう。」などと、とても上手に相談していて感心しました。



お助けタイムになったら、答えを教えるお助けチームの人は、相談タイムの間、友だちの良いところを見付けて記録しました。友だちの良いところを探すのが、とても上手になっています(\*^\_^\*) (その後チームを交代してゲームを行いました。)

## ③『上手に伝えようパッキンわりゲーム』

目隠しをした友だちに指示を出し、目的地まで導きます。相手に分かるように、具体的に伝えることを意識しました。

右や左など方向を正しく伝えること、距離感をつかみ何歩進めばよいか伝えることは、意外と難しいです。歩幅も人によって違いがあるので、相手意識をもつことも重要になります。

繰り返すうちに、分かりやすく伝えるコツをつかみ、「大股、小股、カニさん歩き」などの言葉も上手に使いこなしながら、伝え合っていました。

